

【ジャロックグループのサステナビリティ】

ジャロックグループは、2015年、国連にて採択された「SDGs（Sustainable Development Goals（エスディーゼズ）：持続可能な開発目標）」を、世界を牽引する重要な目標と捉え、その目指す姿に賛同すると共に、事業活動を通じて企業の経済的価値の追求と社会的課題の解決を両立することで目標の実現に努めて参ります。

※SDGsについて詳しくは、外務省の [JAPAN SDGs Action Platform](#) をご覧ください。

■ジャロックグループが持続可能な社会に向けて目標とする項目

- 目標No.05：「ジェンダー平等を実現しよう」
- 目標No.07：「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」
- 目標No.08：「働きがいも、経済成長も」
- 目標No.09：「産業と技術革新の基盤をつくろう」
- 目標No.10：「人や国の不平等をなくそう」
- 目標No.12：「つくる責任、つかう責任」
- 目標No.13：「気候変動に具体的な対策を」
- 目標No.17：「パートナーシップで目標を達成しよう」

■取組テーマ

①：企業活動を通じた環境貢献（目標No.7、9、8、12、13）

- ・2030年までに資源利用効率の向上とクリーンで環境に配慮した技術・産業プロセスの導入を拡大し持続可能な産業へ作り変えていく
 - 再生エネルギー技術を取り入れた製品の拡大と品質の向上
(例：太陽光でリポリューションファンを動かす)
- ・2030年までに、廃棄物の発生を、予防、削減（リデュース）、再生利用（リサイクル）や再利用（リユース）により大幅削減
 - リチウムバッテリー製品の導入とバッテリーリサイクルによる持続可能産業へ
- ・CO2を排出しない環境に優しい製品の拡大
- ・事業運営における環境配慮活動の推進と環境経営基盤の強化
- ・ISO14001に則った社内外の継続活動

②：人間尊重「人権・労働慣行・安全・健康」（目標No.5、8、10）

- ・年齢、性別、障害、人種、民族、宗教、経済的地位やその他の状況に関わらず、働きやすい職場環境の整備と、採用・社員教育・人材開発の推進
- ・社員の二分の一を外国籍へ
- ・全ての女性のエンパワーメントを推進

③：国・地域・社会とのコミュニケーションと社会貢献活動の促進（目標No.17）

- ・全てのステークホルダーとの良好な関係づくり
- ・協力会社との継続的信頼関係の構築
- ・更なるグローバルパートナーシップの展開
- ・新興国（インド、ベトナム、インドネシアなど）への社会的貢献活動の推進